

平成27年度 基金決算のお知らせ

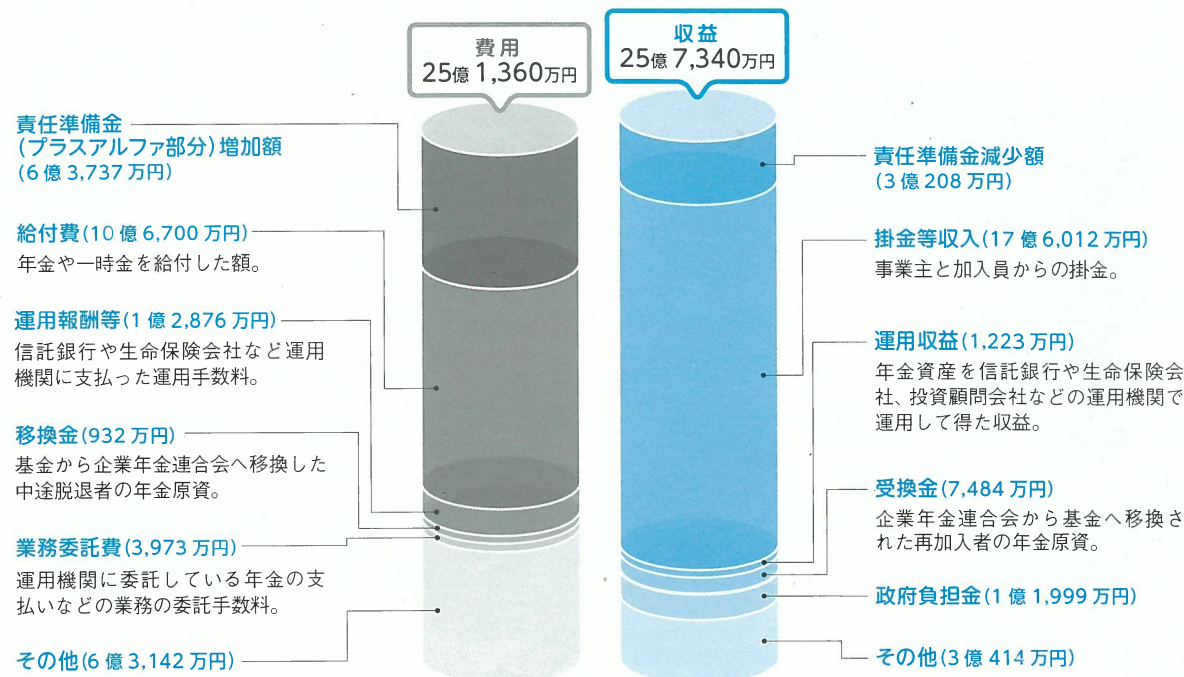


年金経理

年金の給付や掛金のうけ入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

1年間の収支状況 (損益計算書)

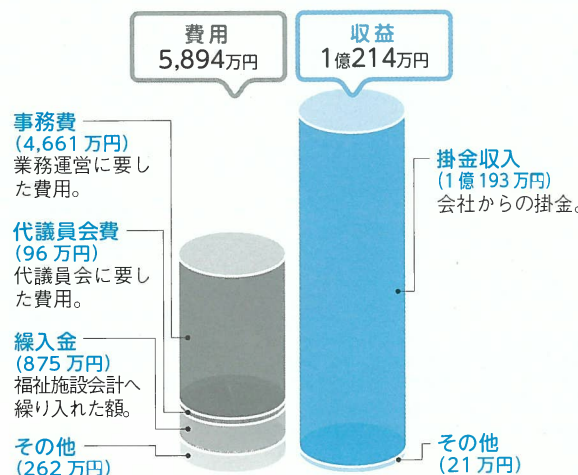
基金の主な収入源である掛金、支出である年金・一時金の支払いのほか、年金資産の運用損益などの1年間の収支を明らかにしています。



業務経理

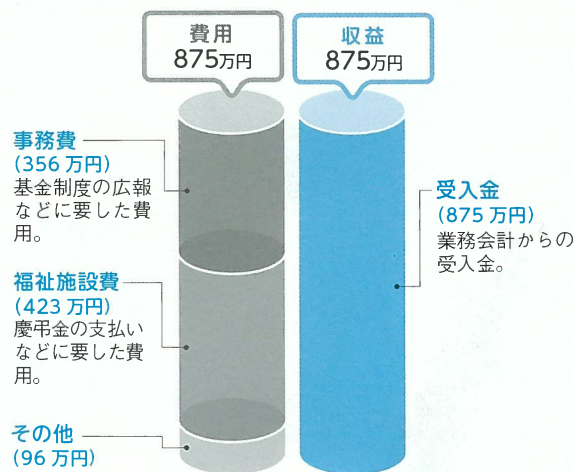
業務会計

基金を運営するための経費を処理する会計です。各種費用の見直しを行い経費削減に努めました。



福祉施設会計

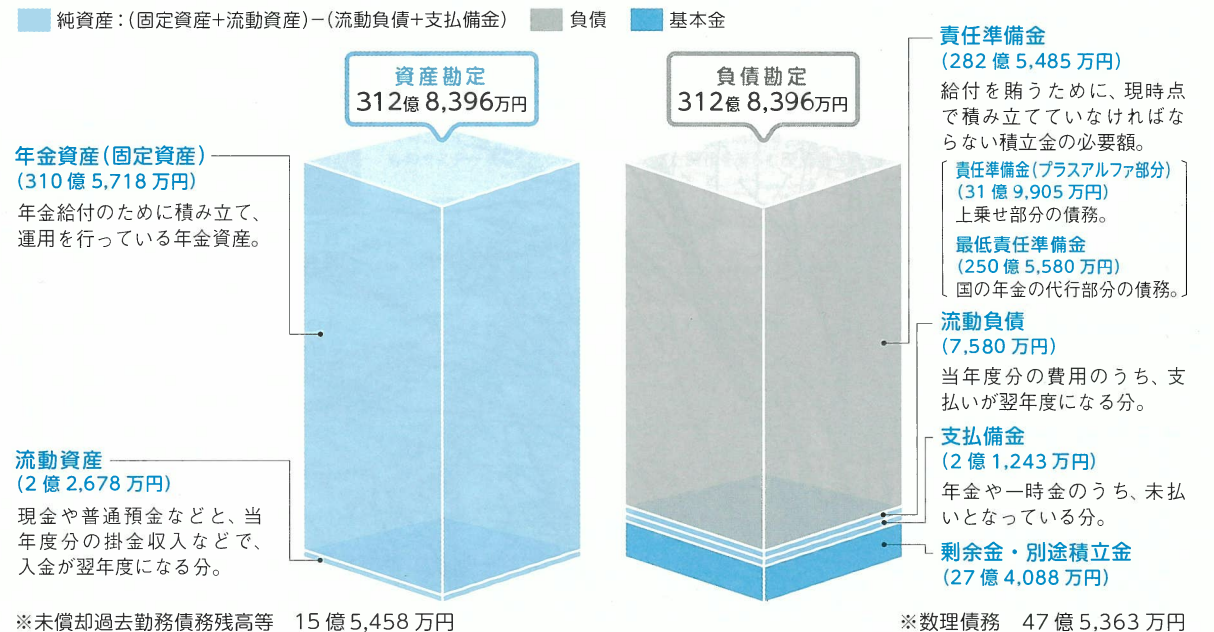
福祉事業を行う会計です。慶弔金の給付や基金制度の広報などを行いました。



9月16日に開催されました第79回代議員会において、当基金の平成27年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

資産と負債のバランス (貸借対照表)

年度末において、実際に保有する年金資産と、将来の年金給付のために積み立てておくべき資産(責任準備金)を比較し、基金財政が健全に推移しているかをチェックします。



平成27年度 年金経理の財政検証結果

基金では毎年度の決算時に、年金資産の積立水準が一定レベルに達しているかどうか、「継続基準」と「非継続基準」という2つの基準によって検証しています。

年金資産の積立水準が基準値を下回った場合は、掛金を引き上げるなどして積立計画を見直します。

継続基準による財政検証

将来の給付への備えとして、現時点で保有すべき資産(責任準備金)が積み立てられているかを検証します。

検証の結果、純資産額が責任準備金を上回り、順調に資産が積み立てられていることが確認できました。

純資産額	1.09	(基準値)
責任準備金		(1.0以上)

非継続基準による財政検証

現時点で基金が解散すると仮定して、加入員、受給者への給付を行うために必要な資産が積み立てられているかを検証します。

検証の結果、基準値をクリアしており、加入員、受給者等への給付を行うための資産を保有していることが確認できました。

純資産額	1.05	(基準値)
最低積立基準額		(0.98以上)
純資産額	1.23	(基準値)
最低責任準備金		(1.2以上)